

事業所名		社会福祉法人安積愛育園 こどものひろばプリモ			公表日		2025年3月17日	
		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2		2	活動エリアを構造化したことにより、少人数(2~3名)であれば対応可能。	スペース的に問題ないが、4名以上となると支援内容の見直しが必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		2		受入れ人数は適切だが、保護者への申し送り時(特に降所)に手薄さを感じる。長期休暇や祝日等で、放デイと重なる時間に余裕がないと感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	3		1		活動(移動)場所にカードを入れるポケットを設置しているが、身長差によって高さが合わない子がいる。	
	4	事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4					
	5	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4					
	6	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4					
業務 改善	7	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		2		評価→改善のシステムが確立していないように感じる。	
	8	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	9	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	10	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。※法人実習生等のアンケート含む	3		1		第三者評価は実施していない。見学者に対して、アンケートを取るなど意見をもらうようにする。	
	11	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		1		限られた職員数のため、支援以外の時間確保が難しい。	
適切 な 支 援 の 提 供	12	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4					
	13	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4					
	14	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4					
	15	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		1	ケース記録に支援計画の内容を記載し、常に確認できるようにしている。		
	16	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4					
	17	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4					
	18	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4					

	19	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4				
	20	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4				
適切な支援の提供	21	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		1		前日の支援内容など確認し合っている。
	22	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		1	すぐに情報共有をするよう努めている。グループLINEで共有する時もある。	
	23	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4				
	24	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		1	相談員からの情報も参考にし、計画書に反映させている。	
関係機関や保護者との連携	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4				
	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。※子育てサロン等も含む	3		1		地域の方との関りが少ないが、関係機関とは連携している。
	27	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4				
	28	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4				
	29	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 ※代表職員の参加・伝達も含む					
	31	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。※代表職員の参加・伝達も含む					
	32	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4				
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 ※公園や外出等での地域のこども達とのふれあひも含む		2	2		地域の方と交流する機会の設定ができていない。今後地域の方とどのように講習できるか検討していく。また保護者の方の意見も聞きつつ対応について検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2	2		ペアレントトレーニングや保護者向けの勉強会の設定はできていない。各家庭のニーズに応じて情報提供は行っている。	
保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
	37	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				
	38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4				

の 説 明 等	39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	1		保護者会はないが、奉仕作業など保護者同士で交流できる機会を設けている。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
保 護 者 へ の 説 明 等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		1	3		地域で行われる行事・イベントには参加している。 保護者の方の意向も聞きつつ対応について検討していく。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2		2		相談員や保護者から情報を得て、確認し合っている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2		2		アレルギー結果を確認しているが、医師の指示書までもらうケースはない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		1		安全に留意しながら支援している。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2		2		契約時に取組みについて説明し、常に閲覧できるように入口に掲示している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		1		スタッフ同士で共有し、確認・検討している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		1		対象者はいない。	

事業所名 社会福祉法人安積愛育園 こどものひろばプリモ

公表日 2025年3月17日

利用児童数

8名

回収数

7名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7				のびのびと活動が出来ているので本人が満足している。	ご意見ありがとうございます。今後も構造化などをして、おきさまたちが活動しやすい環境設定をまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。	6	1			自身で片付けやお手伝いを進んでやれる環境作りをしているのでありがたい。	ご意見ありがとうございます。おきさまたちが自主的に活動できるよう環境作りを努めていきたいと思っています。
	4 事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6			1		おきさまたちが安全に事業所を使用できるようバリアフリー化も検討していきたいと思っています。
	5 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7				過ごす部屋を分けているのでより良い空間作りだと思う。	ご意見ありがとうございます。活動場所を清潔に保ち、安心して活動できるようにしていきたいと思っています。
適切な 支援の 提供	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1			親身になって寄り添っているのが安心。	ご意見ありがとうございます。おきさまたちの特性を活かしながら、できる、できたという成功体験を積んでいただけるよう支援させていただきます。
	7 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	8 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	1			支援計画を立てることで、成長できた面、伸ばしていく面をお互いに確認できる。	ご意見ありがとうございます。今後もおきさまや保護者様からのニーズをお聞きしながら支援計画を作成させていただきます。
	9 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	10 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7				本人らしきや成長したところもあり、皆さんのおかげだと改めて思いました。	ご意見ありがとうございます。今後も支援計画に沿って活動提供していきたいと思っています。
	11 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1				保護者様からのご意見もうかがいつつ、おきさまが楽しんで活動できるプログラムを計画していければと思います。
	12 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 ※公園や外出等での地域のこども達とのふれあいも含む	5	1		1		地域のおきさまとの交流については、保護者様の要望もうかがいつつ、対応について検討させていただければと思います。
保護者 への 説明 等	13 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	14 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7				的確な説明ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。今後も保護者様に分かりやすいようご説明させていただきます。
	15 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1		2		研修などの実施はできておりませんでしたので、まずは情報提供の機会を増やしていけるよう検討させていただければと思います。
	16 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7				ちょっとした出来事でも、より良い情報共有になると思う。	ご意見ありがとうございます。今後も保護者様と共通理解に努め、対応させていただきたいと思っています。
	17 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	18 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	1			本人もいろんな職員さんとの触れ合いを楽しんでいる。	ご意見ありがとうございます。保護者様から信頼されるよう、今後も保護者の方に寄り添いながら対応させていただきます。

	19	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 ※保護者食事会、ママランチ等も含む	2	2	2	1	食事は難しいですが、お茶会ならあ ると良いなと思いました。	ご意見ありがとうございます。保護者 様、ご家族様が参加しやすいような企画 を設定していきたいと思います。
	20	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている とともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	6	1				保護者様が相談しやすいよう努めてい き、迅速に対応していきたいと思いま す。
保 護 者 へ の 説 明 等	21	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	6	1				保護者様と情報交換を密にし、信頼関係 を築いていきたいと思います。
	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信さ れていますか。	7					
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非 常 時 等 の 対 応	24	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユア ル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていま すか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1				各マニュアル等については、再度ご周 知・ご説明の機会を設けさせていただ き、改善を図らせていただきます。
	25	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	3	1		3		
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					
	27	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事 故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1				
満 足 度	28	子どもは安心感をもって通所していますか。	7				毎週楽しみに待ちきれない日もありま す。	ご意見ありがとうございます。お子さま たちが安心して活動できる環境を整えて いきたいと思います。
	29	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7				2時間では足りないくらいです。 大満足。	ご意見ありがとうございます。これから もお子様たちが楽しんで活動できるよう 努めていきたいと思います。
	30	事業所の支援に満足していますか。	7				残り少ないですがよろしく願いま す。	ご意見ありがとうございます。ご利用さ れているお子さまたちに楽しいと思っ ただけの活動を今後も継続させていた できます。

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	社会福祉法人安積愛育園 こどものひろばプリモ		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別・小集団での活動。	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での受入れのため、1対1で関われる時間を大切にしている。 ・ニーズに合わせて個別活動(療育)や小集団での活動(制作や他児との関わりなど)を通して、多様な体験ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出訓練を通して、ルールやマナーなど社会経験を積み機会を設ける。
2	充実した環境。	<ul style="list-style-type: none"> ・広い園庭と遊戯室があり、のびのびと活動できている。体を使った活動(運動など)ができることで、情緒の安定にも繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した環境を活かし、他事業所のお子さんとの交流など様々な行事やイベントを企画していく。
3	保護者及び関係機関との連携。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談、悩み事に対し傾聴し共感している。 ・保護者、相談員、他事業所、幼稚園等と連携し、お子さんが安心して利用できるよう共通理解に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんや保護者のニーズに応えられるよう関係機関との連携を密に行っていく。また、保護者の不安や悩みに対し迅速に対応し、安心していただくよう努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人数が少なく、集団活動が充実しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスとの多機能事業所のため、放課後等デイサービスの人数と児童発達支援の人数の割合により、受け入れ人数が少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休みなどで放課後等デイサービスのお子さんと一緒に活動する機会を設けたり、法人内他事業所のお子さんとの交流の機会を作るよう検討する。
2	安定した新規の受入れができない。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所を知ってもらうため、SNSなどで活動の様子を掲載しているが、安定した新規の受入れに繋がらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の幼稚園等と見学会や情報交換を行い、関係性を構築していく。また、各関係機関に対しても積極的に情報収集を行っていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名 社会福祉法人安積愛育園 こどものひろばプリモ

公表日

2025年3月17日

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		1		体が大きい利用者があるので、人数が増えると活動エリアが狭く感じる。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3		1		配置基準は満たしているとはいえ、余裕がない。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2		2		玄関等の段差や教室にはパーテーション等があるため、車椅子等の方には使いにくい箇所がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		1		評価→改善のシステムが確立していないように感じる。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。※法人実習生等のアンケートも含む	2		2		第三者評価は実施していない。見学者に対して、アンケートを取るなど意見をもらうようにする。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切 な 支 援 の 提 供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		1	ケース記録に支援計画の内容を記載し、常に確認できるようにしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		1	活動プログラムの統一は行っている。一人ひとりの自主性を尊重し、自分で活動を選択できる対応をしている。	
18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4					

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		2	前日の支援内容など確認し合っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		1	すぐに情報共有をするよう努めている。グループLINEで共有する時もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		2	地域の方との関わりが少ないが、関係機関とは連携している。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		1	利用前には会議の場を設け、関係機関同士で情報共有は行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2		2	障害福祉サービス事業所等へ移行する方はいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 ※代表職員の参加、伝達も含む	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 ※公園や外出等での地域のこども達とのふれあひも含む		1	3	地域の方と交流する機会の設定ができていない。交流を望まない保護者もいる。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 ※代表職員の参加、伝達も含む	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2	2	ペアレントトレーニングや保護者向けの勉強会の設定はできていない。各家庭のニーズに応じて情報提供は行っている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	1	保護者会はないが、奉仕作業など保護者同士で交流できる機会を設けている。

保護者への説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2	2	地域で行われる行事・イベントには参加している。	保護者の方の意向も聞きつつ対応について検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		1	相談員や保護者から情報を得て、確認し合っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	1		アレルギー結果を確認しているが、医師の指示書までもらってケースはない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2		2		契約時に取組みについて説明し、常に閲覧できるように入口に掲示する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2		2		対象者はいない。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後等デイサービス)

事業所名 社会福祉法人安積愛育園 こどものひろばプリモ

公表日 2025年3月17日

利用児童数

20名

回収数

13名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			1		お子さまたちに十分に配慮した職員配置をしていきたいと思ひます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思ひますか。	13					
	4 事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思ひますか。	11	1		1		お子さまたちが安全に事業所を使用できるようバリアフリー化も検討していきたいと思ひます。
	5 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思ひますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思ひますか。	13					
適切な 支援の 提供	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思ひますか。	12	1				お子さまたちの特性を活かしながら、できる、できた、という成功体験を積んでいただけるよう支援させていただきます。
	7 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思ひますか。	13					
	8 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思ひますか。	13					
	9 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思ひますか。	12	1				ガイドラインについてのご説明が不足しておりました。今後、個別支援計画のご説明時にガイドラインのご説明もさせていただきます。
	10 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思ひますか。	13					
	11 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思ひますか。	13					
	12 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。※公園や外出等での地域のこども達とのふれあいも含む	5	5		3		地域のお子さんとの交流については、保護者様の要望もどうかいつ、対応について検討させていただければと思ひます。
保護者 への 説明等	13 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	14 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	15 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	1	3		研修などの実施はできておりませんでしたので、まずは情報提供の機会を増やしていけるよう検討させていただければと思ひます。
	16 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思ひますか。	13					とても子供の様子を観察していただけていると思ひます。また、新たな問題点が見つかったときは都度報告をいただけるので安心して利用できています。ご意見ありがとうございます。今後も保護者様と共通理解に努め、対応させていただきます。
	17 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					
	18 事業所の職員から共感的に支援をされていると思ひますか。	13					

	19	<p>父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。</p> <p>※保護者食事会、ママランチ等も含む</p>	3	4	3	3	<p>この先、ずっと顔を合わせる人が多いと思うので、他の保護者さんとあまり近くなれない方が良いのではと思っています。</p> <p>保護者、きょうだい児同士の交流は参加した事がないので、機会があれば参加してみたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。保護者様、ご家族様が参加しやすいような企画を設定していきたいと思います。</p>
	20	<p>子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。</p>	13				<p>相談した事に対して、アドバイスや話を聞いて頂いて解決できている。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。今後も保護者様が相談しやすいよう努めていき、迅速に対応していきたいと思います。</p>
保護者への説明等	21	<p>子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。</p>	13					
	22	<p>定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。</p>	13					
	23	<p>個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。</p>	12			1	<p>個人情報には十分に留意し、人目が付かない場所に保管しております。</p>	
非常時等の対応	24	<p>事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。</p>	11	1		1		<p>各マニュアル等については、再度ご周知・ご説明の機会を設けさせていただき、改善を図らせていただきます。</p>
	25	<p>事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。</p>	8		1	4		
	26	<p>事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。</p>	10		1	2		
	27	<p>事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。</p>	9		1	3		
満足度	28	<p>子どもは安心感をもって通所していますか。</p>	13					
	29	<p>子どもは通所を楽しみにしていますか。</p>	13				<p>とても楽しみにしています。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。今後もお子さまたちが楽しんで活動できるよう努めていきたいと思います。</p>
	30	<p>事業所の支援に満足していますか。</p>	12		1		<p>本人、家族にとって、なくてはならない支援です。いつもありがとうございます。とてもお世話になっています。どうもありがとうございます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。ご利用されているお子さまたちに楽しいと思っただけの活動を今後も継続させていただきます。</p>

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	社会福祉法人安積愛育園 こどものひろばプリモ		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されないようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> 個別活動や集団活動を組み合わせて行っている。 季節に合わせた行事やイベント、調理、外出訓練などを年間行事に取り入れて実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さん一人ひとりに寄り添い、「できる」「できた」を大切に、達成感を感じられるような活動を提供していく。 個別活動や集団活動を通して、主体性を発揮できるよう支援していく。
2	充実した環境。	<ul style="list-style-type: none"> 広い園庭と遊戯室があり、のびのびと活動できている。体を使った活動(運動など)ができることで、情緒の安定にも繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 充実した環境を活かし、他事業所のお子さんとの交流など様々な行事やイベントを企画していく。
3	幅広い年齢層のお子さんを受入れている。	<ul style="list-style-type: none"> お子さん同士で活動できるような部屋割りをしている。 その子の特性やニーズに合わせて活動提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学、中学、高校生が利用しているため、療育内容が混同しないよう、その子のライフステージに応じた療育を提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちと関わる機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスや学校行事などのスケジュールが違うため交流の日程調整が難しい。 学校終了後では、交流することがない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の児童がいるようなイベントへの参加。 長期休暇や祝日を利用し、法人内他事業所へ声をかけ交流の場を作っていく。
2	他法人事業所との連携が乏しい。	<ul style="list-style-type: none"> 地域に連携できる事業所が少ない。 事業所の業務を優先してしまい、連携が後回しになってしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画に見学する機会を設け、お互いの事業所の活動内容や対応の仕方などを情報交換し、関係を深めていく。
3			